

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 18 日 (2013.4.18)

【公開番号】特開 2012-15577 (P2012-15577A)

【公開日】平成 24 年 1 月 19 日 (2012.1.19)

【年通号数】公開・登録公報 2012-003

【出願番号】特願 2010-147140 (P2010-147140)

【国際特許分類】

H 0 4 B 10/40 (2013.01)

H 0 4 B 10/50 (2013.01)

H 0 4 B 10/60 (2013.01)

H 0 4 J 14/00 (2006.01)

H 0 4 J 14/02 (2006.01)

H 0 4 L 12/44 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 9/00 Y

H 0 4 B 9/00 E

H 0 4 L 12/44 2 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 1 日 (2013.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

光伝送路 (40) と、

互いに異なる上り波長及び下り波長を使用する複数の第 1 の光送受信装置 (12-1 ~ 12-n) と、

当該複数の第 1 の光送受信装置と通信する複数の第 2 の光送受信装置 (50-1 ~ 50-n) と、

当該複数の第 1 の光送受信装置が出力する下り光を波長多重し、光伝送路からの多重化された上り光を当該複数の第 1 の送受信装置のそれぞれに向かう上り光に波長分離する第 1 の波長多重分離手段 (14)

とを具備し、

当該光伝送路が、

当該複数の第 2 の光送受信装置が出力する上り光を波長多重し、当該第 1 の波長多重分離手段で多重された当該下り光を、当該複数の第 2 の送受信装置のそれぞれに向かう下り光に波長分離する第 2 の波長多重分離手段 (46) と、

当該第 1 の波長多重分離手段と当該第 2 の波長多重分離手段との間に配置される反射器 (44)

とを具備し、

当該第 1 の光送受信装置が、当該複数の第 1 の光送受信装置が使用する全部の下り波長と、当該複数の第 1 の光送受信装置が使用する全部の上り波長とを多重分離する第 1 の WDM カプラ (28) と、信号光源となる第 1 の波長可変光源 (24) を具備する第 1 の送信装置 (22) と、第 1 の受信装置 (30) と、当該第 1 の送信装置 (22) の出力する下り光の、当該反射器 (44) による第 1 の反射光を受光する第 1 の受光器 (32) と、当該第 1 の送信装置 (22) の出力する下り光を当該第 1 の WDM カプラ (28) に供給

し、当該第 1 の W D M カブラ (2 8) からの、当該第 1 の反射光を当該第 1 の受光器 (3 2) に供給する第 1 の光カブラ (2 6) と、当該第 1 の受光器 (3 2) により受光される当該反射光のレベルに応じて、当該第 1 の反射光のレベルが所定値以上になるように当該第 1 の波長可変光源の波長を制御する第 1 の制御装置 (3 4) とを具備することを特徴とする光伝送システム。